

**製品名: Csk (リン酸化 Ser364) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04508**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CSK
別名	CSK; Tyrosine-protein kinase CSK; C-Src kinase; Protein-tyrosine kinase CYL
遺伝子 ID	1445.0
SwissProt ID	P41240
免疫原	抗血清は、Ser364 のリン酸化部位周辺のヒト Csk 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 330-379

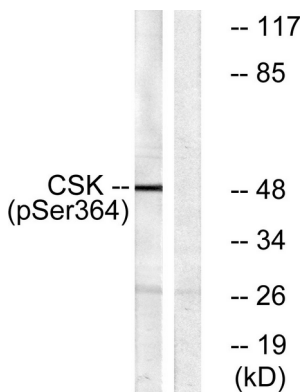
**背景**触媒活性:  $ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸$ 。機能: LCK 上の「Tyr-504」を特異的にリ

ン酸化します。これは負の調節部位として機能します。LYN キナーゼおよび FYN キナーゼにも作用します。、PTM: Tyr-304 の自己リン酸化は、in vitro において CSK 濃度が異常に高い場合にのみ起こります。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr タンパク質キナーゼファミリー。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr タンパク質キナーゼファミリー。CSK サブファミリー。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、類似性: 1つの SH2 ドメインを含む。、類似性: 1つの SH3 ドメインを含む。、細胞内局在: 主に細胞質内だが、脂質ラフトにも存在する。、サブユニット: PTPN8 と相互作用する (類似性による)。リン酸化 SIT1、PAG1、LIME1、TGFB11 と相互作用する。、組織特異性: 肺およびマクロファージで発現する。、触媒活性:  $ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸$ 。、機能: LCK 上の「Tyr-504」を特異的にリン酸化します。これは負の調節部位として機能します。LYN キナーゼおよび FYN キナーゼにも作用します。、PTM:チロシン 304 の自己リン酸化は、in vitro において CSK 濃度が異常に高い場合にのみ起こります。、類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンキナーゼファミリー。、類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンキナーゼファミリー。CSK サブファミリー。、類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、類似性:1つの SH2 ドメインを含みます。、類似性:1つの SH3 ドメインを含みます。、細胞内局在:主に細胞質ですが、脂質ラフトにも存在します。、サブユニット:PTPN8 と相互作用します (類似性による)。リン酸化 SIT1、PAG1、LIME1、および TGFB11 と相互作用します。、組織特異性:肺およびマクロファージで発現します。、

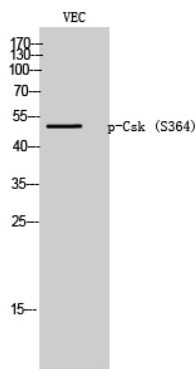
## 研究分野

ケモカイン、神経栄養因子、アクチンと細胞骨格の調節、ヘリコバクター ピロリ感染における上皮細胞シグナル伝達

## 画像データ



PMA 125 ng/ml 30分処理した HeLa 細胞ライセートの Csk (リン酸化 Ser364) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 Csk (S364) ポリクローナル抗体を用いた VEC 細胞のウェスタンブロット解析

